

芹の粥ぎんなんの粥みなよろし　さらさらと薄雪の正月

『秋天瑠璃』 斎藤 史

衰へしかたち微かに生きをれば年あらたまり心あらたまる

『形影』 佐藤佐太郎

ことごとく日月はなごり元日の屠蘇も餅もちひも別れをふくむ

『鎮守』 上田三四二

賜はれる無名白紙の年賀状謎解けぬまま七草過ぎつ

『自分さがし』 築地 正子

松や松この頑固なる直立の香のさびしさに年ははじまる

『世紀』 馬場あき子

立ったまま凍れる滝のほのと明るみにつつ日は昇り初む

『金色の獅子』 佐佐木幸綱